

定例会情報

令和6年 第3回定例会(9月3日～9月26日)

本定例会は、令和6年度補正予算のほか、令和5年度歳入歳出決算などを審査するため、9月3日から9月26日までの24日間の会期で開催しました。なお、上程された条例改正や補正予算などの報告1件、承認1件、発議1件、11議案、認定14件については、すべて原案のとおり承認、可決、認定としました。

本会議審議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。

● 保育に関すること

- 議案第79号 飛騨市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴う改正

Q 0歳児から2歳児の預かりについては記述がないが、どうなるのか

A 基本は未満児を預かる施設であるが、場合によって3歳以上児を預かることもあり、その部分についての改正である

● 国民健康保険に関すること

- 議案第78号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴い、所要の改正を行うもの

● 行政手続に関すること

- 議案第76号 飛騨市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について

今般のシステム標準化において、一部の業務で新たにマイナンバーを利用し業務間の同一人判定を行うため、他業務との情報連携が必要となることから、所要の改正を行うもの

Q 市外に住んでいて市内に土地をもっている方が死亡された場合、マイナンバーで連動され土地の所有者情報も変わるのか

A 郵送で確認していた事務がマイナンバーにより確実に becoming と思われる

● 企業立地に関すること

- 議案第81号 飛騨市企業立地促進条例の一部を改正する条例について

今後の財政状況を踏まえ、人数要件の緩和、並びに助成上限額について見直すもの

Q 今年度から令和8年度までの申請状況は

A 令和6年度は移設1件・増設1件、令和7年度は増設2件、令和8年度は新設1件の見込みである

● 辺地計画に関すること

- 議案第77号 坂下辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

辺地対策事業債の予定額が範囲を超える変更を要するため、計画を変更し議決を求めるもの

● 職員の給与等に関すること

- 議案第75号 飛騨市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

今般の市県民税の課税誤りにおいて、市政における事務の信頼性を損なう事態を招いたことから、当該事案に関する管理責任を明らかにするため、市長及び副市長の給料を減額するもの

Q 市長・副市長の給与減額の基準はあるのか

A 特にない。事案に応じて判断することとなる。今回は組織としての責任を重く見て判断した

● 財産の無償譲渡に関すること

- 議案第80号 財産の無償譲渡について(神岡町旧白樺荘)

ひだ流葉スキー場への活性化を図るため、市有財産の民間事業者への無償譲渡について審議
譲渡先 株式会社newflow

Q 今回の譲渡申し込みに対し、無償譲渡とした理由は

A 建物解体費が見込みで1,780万円であること、申込者が施設への投資を準備していること、将来にわたるスキー場の経営に資するものであることなどを考慮した結果である

● 予算に関すること

令和6年度 補正予算

- 議案第82号 令和6年度飛騨市一般会計補正予算(補正第2号)

15億5,497万8千円を増額、補正後の予算額は212億8,165万5千円

- 議案第83号 令和6年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算(補正第1号)

事業勘定の7,363万7千円を増額、補正後の予算額は26億2,323万7千円、直営診療施設勘定の36万8千円を

増額、補正後の予算額は1億9,496万8千円

- 議案第84号 令和6年度飛騨市後期高齢者医療特別会計補正予算(補正第1号)

915万1千円を増額、補正後の予算額は5億555万1千円

- 議案第85号 令和6年度飛騨市介護保険特別会計補正予算(補正第1号)

保険勘定の2億1,744万7千円を増額、補正後の予算額は35億3,214万7千円、事業勘定の376万円を増額、補正後の予算額は1,824万円

総務部

- Q 職員の採用・退職状況は

A 一般会計で、採用5名、退職6名である

企画部

- Q 市政20周年事業補助金は少額が多いのか

A 各種団体が気運を高めるためのイベントなので様々であるが、7月末で29件、年末までで11件予定している

市民福祉部

- Q 児童手当所得制限撤廃の影響は

A 影響があるのは9世帯である

環境水道部

- Q 電気自動車の充電施設の使用は増えているか

A 道の駅2カ所(アルプ飛騨古川・宙ドーム)とも増えている

農林部

- Q 多面的機能支払交付金減額の要因は

A 活動組織の高齢化、後継者不足である

教育委員会事務局

- Q スクールバス購入額の1千万円の入札差金をどう捉えるのか

A 購入にあたって再度見積をとったが、実際入札にあってはこれだけの差金が出たためである

消防本部

- Q ドローンでの物資運搬は考えているか

A 検討中であるが40~50kgは運べる

● 認定に関すること

令和5年度 歳入歳出決算

- 認定第1号 令和5年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和5年度飛騨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和5年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和5年度飛騨市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和5年度飛騨市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 令和5年度飛騨市農村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 令和5年度飛騨市個別排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第9号 令和5年度飛騨市下水道污泥処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第10号 令和5年度飛騨市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第11号 令和5年度飛騨市情報施設特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第12号 令和5年度飛騨市給食費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第13号 令和5年度飛騨市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第14号 令和5年度飛騨市国民健康保険病院事業会計決算の認定について

総務部

- Q 職員の確保に苦戦する背景は

A 全体的に人手不足で、民間企業との採用競争が激化している。飛騨市においては、若年者が少なく、地元採用が年々厳しくなっている

会計事務局

- Q 短期集中投資による運用資金の硬直化とは何か

A 資金の運用は定期預金を中心に行なっていたが、金利上昇に伴い債権価格が購入額を下回っている状況にあり、満期到来まで債券で運用している資金を動かさない状況にある

企画部

定例会の概要

Q 移住された後のフォローはどのようなものがあるのか

A 生活相談など来年度は移住者の意見交換等をしていく

振興事務所

Q 集落支援員の現状は

A 買い物支援や農地管理等の実施や、耕作放棄地の活用で野ブドウの栽培をしている。他の畑の手伝いや野草の手伝い等、地域のコミュニティに携わっていて力になっている

環境水道部

Q 省エネ家電の買い替え補助のみだが新規購入補助は考えていないのか

A 市単で電気効率の悪いものからの買い替えを対象としており、脱炭素を図ることを目的としている

基盤整備部

Q 交通安全施設の通学路に対しての要望と実施率は

A 令和5年度は16件の要望があり8件実施した

農 林 部

Q 森林環境贈与税の積立は今後も続けるのか

A 獣害対策を含め基金を取り崩し森林整備事業を拡充する

市民福祉部

Q こどものこころクリニックの広域運営は考えないのか

A 今のところ考えていない。飛騨市はふらっと等の利用で患者が減ってきている

商工観光部

Q 合宿や大会誘致の際、ビジネスホテル需要はどうか

A エアコンやトイレ設備への要望はあるが、大部屋で生活する機会も良いという別の評価もある

教育委員会事務局

Q GIGAスクール構想で当初予定は県外や海外との交流を行うとあったが進捗状況は

A 令和5年度は市内の小規模校3校との会議システムを使い交流の実施や、特定の授業では他の市町村との交流もしている

病院事務局

Q 富山大学や岐阜大学などから研修医が来ているが、感触はどうか

A 3ヵ月勤務される方もいるが満足度は高まっている。直ちに就職にはつながらないが少しずつ良い感じはある

消 防 本 部

Q 耐用年数が過ぎた防火衣はしっかりと更新されているか

A 更新計画に沿って8着ずつ更新していきたいが、物品単価上昇により計画どおり更新できない状況にある

◆ 討 論 ◆

認定第2号 令和5年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
(賛成者多数で可決されました)

反対討論 籠山恵美子 議員

この令和5年度は、加入者1人当たり約6千円を11年度まで毎年引き上げる保険料の徴収方針を実施した初年度である。5年度の国保事業の推移をみても、歳入26億円、歳出は療養給付費が18億円。県への納付金5億7千万円を納めても基金や予備費は残ったままで赤字会計ではなく余裕もある。保険料の引き下げなどもっと市民のためにやれることがあるはずだ。国保事業が受益者負担まかせの企業会計のようになってしまっているのではないかと危惧し、反対する。

賛成討論 住田 清美 議員

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症による受診控えがなくなり、療養給付費も前年より約0.1億円の増加となったが、国民健康保険制度のおかげでゆるぎない医療制度が確立されている。また、保険料は、急激な増加に対応するため財政調整基金を活用しながらゆるやかな増加に留めてあり、軽減措置も半数以上が該当している。今後もなくてはならない制度であり、認定に賛成する。

佐藤	中田	小笠原	水上	上吹	森	論井
○	○	○	○	○	○	—
澤	住田	前川	野村	籠山	高	反賛
○	○	○	○	○	原	対成
○	○	○	○	×	○	…○

● 報告に関すること

● 報告第5号 株式会社飛騨ゆいの経営状況報告について

令和5年度事業報告及び決算に関する報告と令和6年度事業計画及び予算に関する報告

Q ホテル季古里の民間への譲渡を考えるのか。指定管理料がゼロだが単純に補えないのか

A 飛騨ゆいの救済ではなく、ホテル季古里は宿泊施設であることから市民利用がないことを考えると指定管理料を入れずにやってくれる民間事業者を何とか探す

● 専決処分の承認に関すること

● 承認第6号 令和6年度飛騨市一般会計補正予算(専決第2号)

【専決第8号】令和6年7月15日豪雨災害の復旧に伴う補正

定例会の初日9月3日に、発議第2号にて議員間及び議員と職員との間におけるハラスメントの防止に関し必要な措置を講じ、市民から信頼される市議会を実現するため「飛騨市議会ハラスメント防止条例」を提出し、起立採決により12人の起立で可決しました。